

金沢学院高等学校入学志願者調査書の記入について

(1) 全般的留意事項

ア 調査書の各欄は、当該欄に記入事項がない場合には必ず「特記事項なし」等を記入し、それが記入漏れでないことを明示する。

ただし、「3 特別活動の記録」及び「4 行動の記録」の状況欄は、「十分に満足できる状況」にあると判断される場合のみ○印を記入することとし、空欄があってもよい。

イ 誤記訂正の箇所には、記載責任者印を押す。

ウ 調査書の記載にあたっては、本校ホームページよりダウンロードして複写したものに記入するほか、コンピュータ等により記載してもよい。

(2) 各欄の留意事項

「1 生徒」欄

ア 過年度生にあつては、卒業見込みの「見込み」を二本線で消去する。

「2 出欠の記録」欄

ア 欠席日数については、生徒指導要録の該当欄から転記する。

ただし、卒業見込みの者について、第3学年の欠席日数は、今年度12月末日現在で記入する。

イ 備考欄には、各学年10日以上欠席があり、欠席理由を説明する必要がある場合に記入する。

「3 特別活動の記録」欄

ア 状況欄には、各活動内容ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。

イ 係名や分担等の欄には、所属する係名や委員会名及び学校行事における役割の分担などを記載する。

ウ 備考欄には、特別活動全体に関して、その生徒個人として優れている点や学校行事等の活動で特記できる内容があれば記載する。

「4 行動の記録」欄

ア 状況欄には、各項目ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。

イ 所見欄には、総合的に見た場合の長所及び特徴などを記載する。

「5 学校内外における優れた諸活動等の記録」欄

ア 学校内外における奉仕活動、研究、社会活動、表彰を受けた行為や活動、部活動、また取得資格や特技等、生徒個人の優れている点を具体的に記載する。

「6 総合的な学習の時間の記録」欄

ア 総合的な学習の時間の記録については、生徒の学習状況の特徴や優れている点が見えるように記載する。なお、1、2年については、生徒指導要録に記載された内容に基づいて記入することとし、記入事項のない場合は斜線を引く。

イ 学習活動の欄には、学習活動の内容が見えるように具体的に記載する。

ウ 観点の欄には、学校が定めたいくつかの評価の観点の中から、生徒の学習状況の特徴や優れている点が見えるものを選んで記載する。

エ 評価の欄には、生徒の学習状況や生徒にどのような力が身に付いたかなどについて記載する。

「7 学習の記録」欄

ア 「Ⅰ 観点別学習状況」

- (7) 各項目は、中学校生徒指導要録の各教科の観点を、要約して記載してあるので留意すること。
- (4) 各学年、各項目ごとに「十分満足できると判断されるもの」のみ、○印を記入する。

イ 「Ⅱ 評定」

- (7) 1、2、3年のいずれについても5段階評定によって記載する。1、2年の欄は、共通履修した「外国語」を含めて、生徒指導要録から転記する。3年の欄は、中学校学習指導要領の目標に準拠した評価（絶対評価）の表記によって記載する。
- (4) 石川県以外の中学校等、上記以外の表記の場合には、その評価方法を「備考」欄に明記する。

ウ 「所見」

各教科の学習について総合的に見た場合の特記すべき学習所見があれば記載する。

エ 「備考」

転入学等により学習の記録が当該中学校で評価したものでない場合は、前に在籍していた学校名、その学校おける評価学年等、簡明に付記する。

「8 志願コース」欄

志願コースを○で囲むこと。特別進学コース選択者は第2希望のコースも○で囲むこと。

「9 専願」欄

専願希望者は、「専願」を○で囲むこと。

以 上